

コモさん家プロジェクト -ご近所にもつ新しい私的公共- 大刀洗みらい研究所 半田 遥

●プロジェクトの概要

空き家や空き部屋（私的空間）を活用し、地域に開かれたコモンスペース（公共性）のある家づくりの方法を研究。信頼関係の中で使える家が町内に増え、かつ家に関係する人たちのゆるやかなコミュニティーのある町づくりを目指す。この取組では、物件所有者や地域とのつながりを大切にする利用方法だからこそ、しっかりと役割や約束事を取り交わすこととしている。

1. 目的

地域に開かれた空き家をつくり、その家を介した
ゆるやかなコミュニティが生まれること。

※空き家等を活用した地域にあるコモンスペース。
(コモンスペースのある〇〇さん家)
ここでは、地域に開かれた公共性のある場 ≈
“コモンスペース”と表現する。

2. 役場がこのプロジェクトを行う理由

これまで町では、住んでいる地域（地縁）や、共通の「志」をもった人々のつながり（志縁）のコミュニティへのサポートを行っている。

今回のプロジェクトは、「空き家」や「空き部屋」を介したコミュニティづくりであり、これまで実施してきたコミュニティづくりの活動がより充実する。

3. プロジェクトの内容 (①仕組みの構築)

コモさん家の概念の整理

【定義】

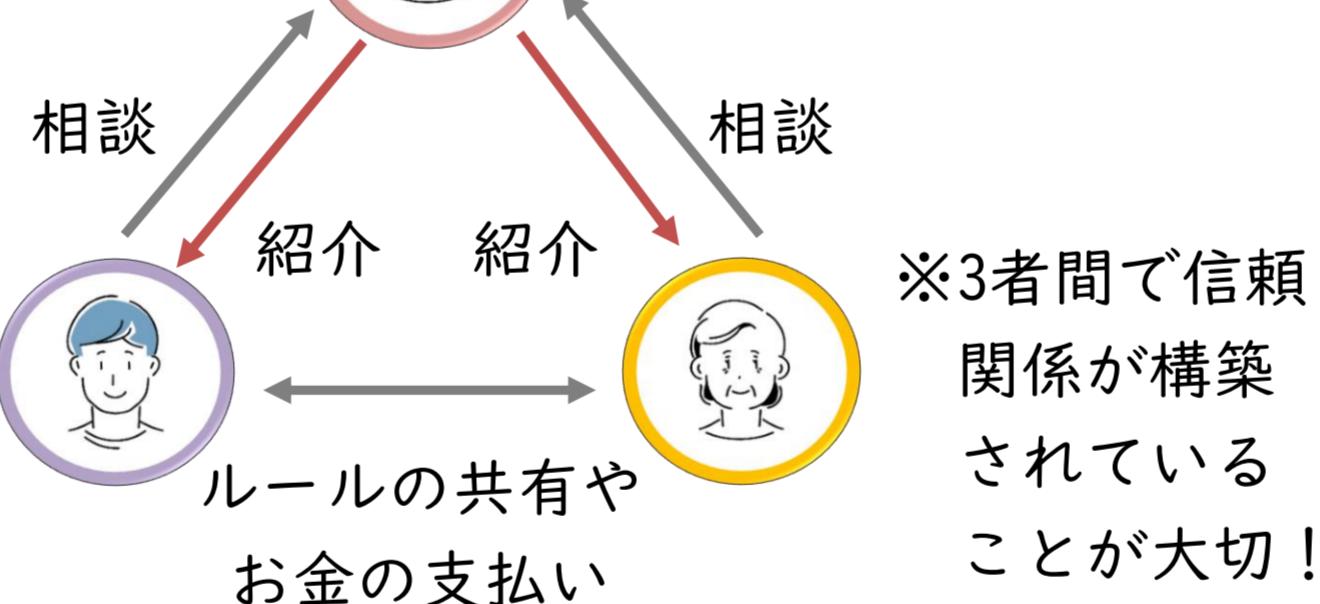
- ・空き家や空き部屋を活用したコモンスペースのある家
- ・物件所有者や地域との繋がりを大切にすること
- ・貨幣以上に信頼を大切にすること
- ・物件自体への愛着をもつ

※他のレンタルスペース等と違い、揉め事が起こる確率があるため、しっかりと役割や決め事を行う必要がある。

関わる人の役割の整理



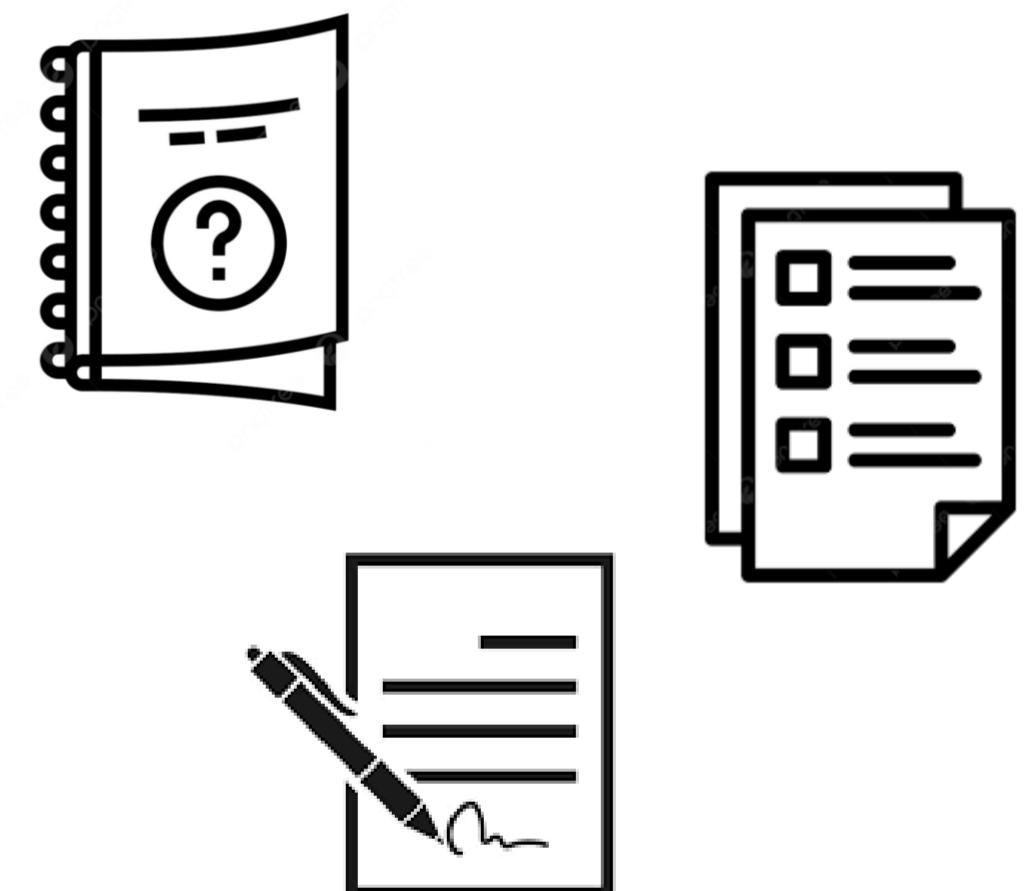
“仲人さん”のように利用希望者と
物件所有者を繋ぐ。
話し合いの場などにも同席する。



活用できる様式等の道具の準備

- ・「コモさん家」の始め方の書
- ・話し合いの書
- ・契約書（案）

を作成



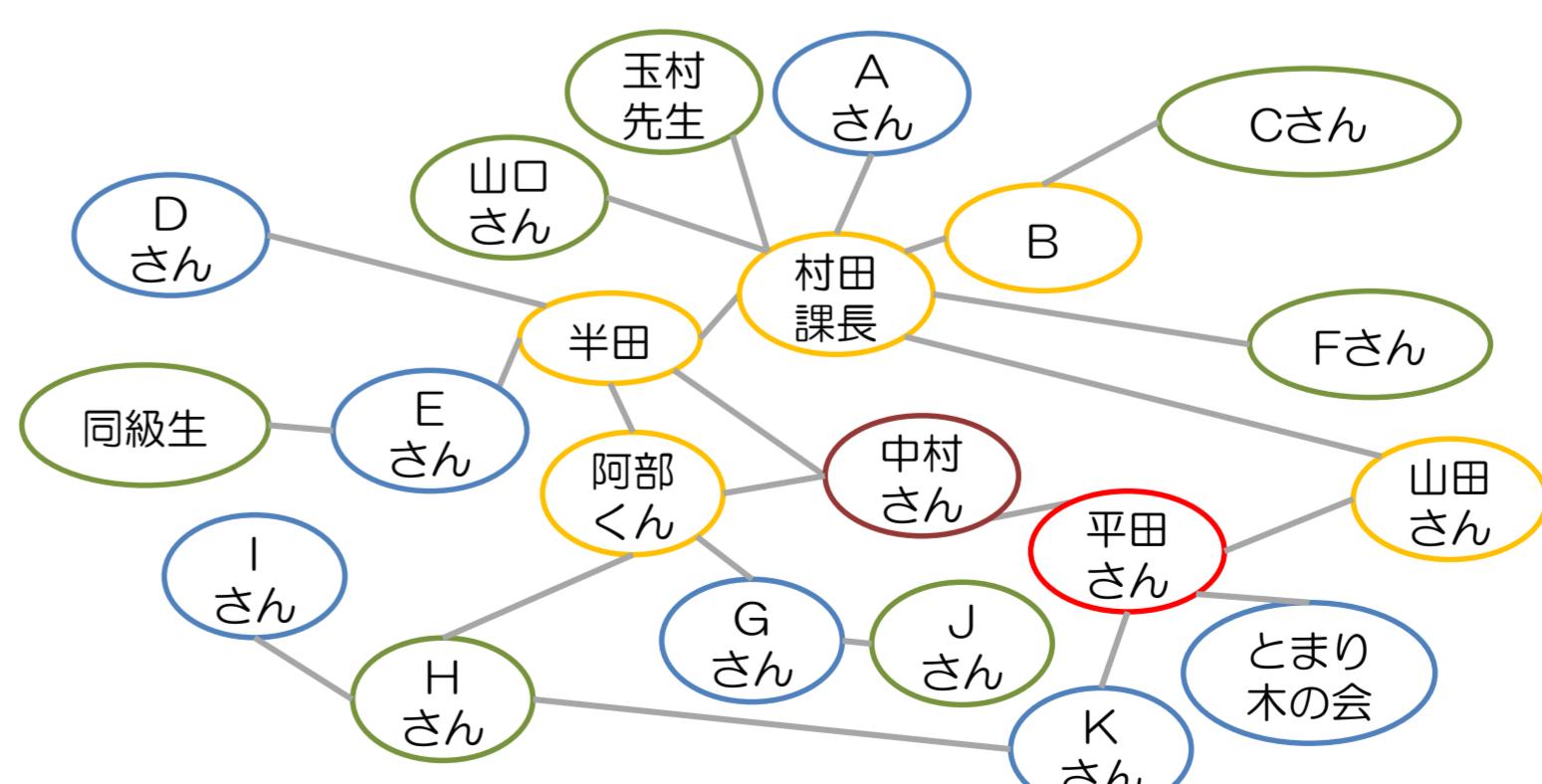
4. プロジェクトの内容 (②試験的実施)

2022年度からコモさん家平田邸の試験実施



みらい研究所のゼミを月1回実施！
その他、様々な使い方をお試し中。

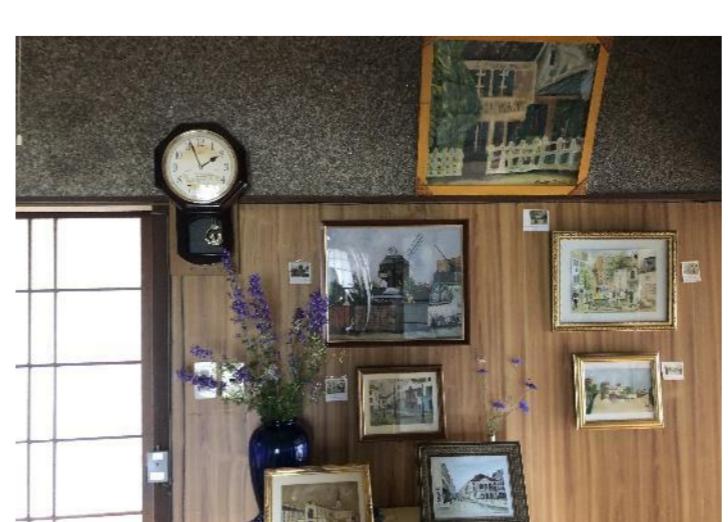
平田邸のコミュニティ図。
アメーバ的に広がっている。



○: 所有者
○: 地域の方
○: 地域振興課
○: 町民
○: 町外

5. 今後の展開

第2の平田邸を町内に増やし、自分らしく過ごせる
場所が町のいたるところに存在する状況を目指す！



絵画や花が飾られるようになり、
家自体の空気も明るくなった。